

令和5年度 第1回

宍粟市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 令和5年4月14日 午後3時45分から

場所 宍粟市役所 3階 庁議室

第1回（定例）宍粟市教育委員会会議録

● 開会・閉会の年月日時及び場所

令和5年4月14日（金） 午後3時45分～4時45分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6 宍粟市役所 3階 庁議室

● 会議に出席した者の職氏名

教育委員

中田直人 教育長

片山繁樹 委員

飯田さおり 委員

金本一二 委員

中川まゆみ 委員

事務局

大谷奈雅子 教育部長

大砂正則 次長兼教育総務課長

小池信仁 こども未来課長

水口恵子 社会教育文化財課長

大北真彰 山崎学校給食センター所長

梶原昭一 人権推進課長

小河秀義 教育部次長

中田 吏 学校教育課長

岡内由里 こども未来課長（指導担当）

西林文隆 次長兼施設整備課長

中尾善弘 次長兼まちづくり推進課長

岩本浩二 教育総務課副課長

1 開会

中田教育長が開会した。

2 会議の成立宣言

出席者数5名となり、中田教育長が会議の成立を宣言した。

3 会議録署名委員の指名

署名委員は、中田教育長の指名により、金本委員に決定した。

4 前回会議録の承認

令和4年度第12回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件

前回の会議録について、大砂次長兼教育総務課長が説明し、承認された。

5 教育長報告

次の3点について、中田教育長が報告した。

(1) 市内小学校、中学校の入学式について

委員にも出席いただいた4月7日の小学校・中学校の入学式について、無事に終えることができ、また、11日には幼稚園・こども園の入園式も挙行了。子どもたちが元気にス

タートを切ることができた。

(2) 令和5年度 教育員会事務局・学校園所の組織について

正規職員・会計年度任用職員をあわせ345人の体制となっている。(資料32～35Pのとおり)

(3) 教育長専決について

2月の教育委員会で審議いただいた「しそうの子ども応援事業」について、その時点では3歳から中学生までを対象としていたが、十分に検討した結果、3歳から高校生世代までを対象を拡充することとなったことから、教育長専決により補正予算案を上程した。また、教育委員会規則5件についても教育長専決を行っており、後ほど担当から報告する。

(4) 山崎南中学校学校規模適正化に向けた対応について

3月28日に、戸原地区地域の委員会再開に向けた準備会を開催した。後ほど担当から報告する。

(5) 令和5年度 主な取組について

それぞれの分野の主な取組として、就学前の保育教育については、3歳児教育・預かり保育を全市で展開するとともに、幼稚園給食をスタートする。また、幼児教育支援事業に着手し、教育委員会に委員会を立ち上げ、学識経験者の意見等を参考にしながら、市内全ての教育・保育施設における教育・保育の質の向上と子育て支援の充実を図る。

学校教育については、昨年度、生き生きプランの後期計画を策定したので、これに基づき、事業を進めていく。また、市内3校目となる小中一貫教育の波賀学園がスタートするほか、宍粟市オリジナルの小学校社会科の副読本のデジタル化等を図り、ICT環境の充実につなげる。施設整備については、山崎南中学校の相撲場の屋根の改修、河東幼稚園の屋上の改修工事を行う。

社会教育については、宍粟市の文化財の保存活用地域計画として、国の国庫補助を受けながら、宍粟市における貴重な文化財を保存する計画を3年かけて策定することとしており、進捗状況については、随時、委員にもお知らせする。また、しそうの子ども応援事業についても順次進めていく。

学校給食については、2月の総合教育会議のなかでも委員から意見をいただいたが、3月に開催した学校給食運営委員会でも今後の学校給食の在り方について説明を行った。今後、保護者等からも意見をいただきながら、日本一になった素晴らしい学校給食を維持するために、料金の引上げ等について検討していきたい。

6 協議報告事項

協議報告に先立ち、大砂次長兼教育総務課長より、宍粟市教育長に対する事務委任規則第3条に基づき教育長が臨時代理した案件について、説明があった。(協議報告事項のうち(1)、(2)、(3)、(5)、(6)及び(11)の6件)

- (1) 令和4年度 宍粟市一般会計3月追加補正予算(第10号)について
資料1【1～2P】により、大砂次長兼教育総務課長及び水口社会教育文化財課長が説明した。
- (2) 宍粟市教育委員会公印規則等の一部改正について
資料2【3～7P】により、大砂次長兼教育総務課長が説明した。
- (3) 宍粟市地区通園バス管理運行規則の廃止について
資料3【8～10P】により、大砂次長兼教育総務課長が説明した。
- (4) 宍粟市立幼稚園遠距離通園支援事業補助金交付要綱の廃止について
資料4【11～13P】により、大砂次長兼教育総務課長が説明した。

委員の主な意見及び事務局の説明

(中田教育長)

協議報告事項の1番の「しそうの子ども応援事業」について、子ども達に図書券・スポーツ等用品券が交付されるのは、いつになる見込か。

(水口社会教育文化財課長)

9月を目標に準備を進めている。

- (5) 宍粟市立教育支援センター管理規則の制定について
資料5【14～15P】により、中田学校教育課長が説明した。
- (6) 宍粟市教育委員会教育機関等の組織に関する規則の一部改正について
資料6【16～17P】により、中田学校教育課長が説明した。
- (7) しそう学校生き生きプロジェクト事業補助金交付要綱の一部改正について
資料7【18～20P】により、中田学校教育課長が説明した。
- (8) 宍粟市生徒指導充実事業補助金交付要綱の廃止について
資料8【21～23P】により、中田学校教育課長が説明した。
- (9) 宍粟市修学旅行推進事業補助金交付要綱の一部改正について
資料9【24～26P】により、中田学校教育課長が説明した。
- (10) 宍粟市山崎文化会館管理規則の一部改正について
資料10【27～29P】により、水口社会教育文化財課長が説明した。

- (11) 宍粟市生涯学習センター管理規則の一部改正について
資料11【30～31P】により、水口社会教育文化財課長が説明した。
- (12) 令和5年度 宍粟市教育委員会事務局の組織について
資料12【32～78P】により、大砂次長兼教育総務課長が説明した。
- (13) 令和5年度 学校園所長等一覧表について
資料13【79P】により、大砂次長兼教育総務課長が説明した。
- (14) 令和5年度 学校園の園児・児童・生徒数について
資料14【80～81P】により、大砂次長兼教育総務課長が説明した。
- (15) 令和5年度 保育所・こども園入所児童数について
資料15【82P】により、小池こども未来課長が説明した。
- (16) 令和5年度 あずかり保育・学童保育入所児童数について
資料16【83P】により、小池こども未来課長が説明した。
- (17) 山崎南中学校区 学校規模適正化推進状況について
資料17【84～99P】により、大砂次長兼教育総務課長が説明した。
- (18) 令和5年度 奨学金申請状況について
資料18【100P】により、大砂次長兼教育総務課長が説明した。
- (19) 学校給食における異物混入状況及び対策について
資料19【101～102P】により、大北山崎学校給食センター所長が説明した。
- (20) 令和5年度 学校給食実施計画表と予定調理数について
資料20【103～104P】により、大北山崎学校給食センター所長が説明した。
- (21) 令和5年度 第3子以降学校給食費免除申請状況について
資料21【105P】により、大北山崎学校給食センター所長が説明した。
- (22) 令和5年度 宍粟市スポーツ施設の開館時間の変更について
資料22【106P】により、中尾次長兼まちづくり推進課長が説明した。

委員の主な意見及び事務局の説明

(片山委員)

山崎南中学校区の学校規模適正化について、資料88ページの教育委員会と教職員の意

識というところで、小人数・小規模校のほうが教育はしやすいという意見が教職員からあったようだが、教職員側からの教えやすさという点ではそうかもしれないが、子どもの生活の部分や人間関係の結びやすさなど広い視点が大事かと思う。また、教育委員会の回答にあるように、教育委員会と教職員が一体となって、子どもにとってよりよい教育環境を整備していくことが大事である。

次に89ページの地域の過疎化というところで、特に戸原地区については、地域での校外学習が活発に行われている地域であるので、学校規模適正化の推進に向けて、こういったところは今後も大切にしていける必要があるかと思う。

次に90ページの今まで適正化を実施してきた地域の声というところで、この保護者は葛沢小学校区の都多地区の声が聞きたいとあるが、葛沢小学校は令和4年度に開校したばかりで、アンケート等による検証が済んでいないため、これまで適正化を実施した校区の声を地域や保護者等への説明に活用していただきたいと思う。

(岩本教育総務課副課長)

戸原地区においては、代表者による協議を3回、保護者説明会を2回開催した。様々な意見が出されたが、3月28日に開催した代表者による協議では、適正化に向けて前向きに進めていきたいとの意見をいただいた。

今後、戸原地区と城下地区の代表者による山崎南中学校区の地域の委員会を開催する流れとなるが、片山委員が言われた部分を含め、引き続き、課題について検討していきたい。

(23) その他

- ・「**宍粟市義務教育の振興に係る長期構想 しそうの子ども生き生きプラン 後期基本計画、令和5年度宍粟の教育、2023年度指導の重点、兵庫が育むこころ豊かで自立する人づくり**」について

別冊資料により、中田学校教育課長が説明した。

- ・「**宍粟市スポーツ推進計画**」について

別冊資料により、中尾次長兼まちづくり推進課長が説明した。

- ・「**宍粟市人権施策推進計画（第2次改訂）、宍粟市人権啓発冊子2023 そよ風**」について

別冊資料により、梶原人権推進課長が説明した。

8 次回会議の招集について

令和5年5月16日（火）午前9時30分から、宍粟市役所3階庁議室において、令和5年度第2回宍粟市教育委員会を開催することとした。

9 閉会

片山委員が閉会した。